

尚美だより

尚美学園大学後援会 / 尚美学園大学尚友会 広報

創刊号

vol. 1

2026.3.31



INDEX

ご挨拶 (学長・後援会会長・尚友会会長)	2
定期総会/賛助会員紹介	3
100周年記念事業	4~5
後援会表彰顕彰2025/チャレンジ2025	6~7
尚美祭	8~9
尚友会 会員通信/卒業生の活躍	10~11
尚友会コンサート/テレビで紹介されました	12
授業風景/学生挨拶 (学友会議長・尚美祭実行委員長)	13
卒業関連イベント	14~15
助成事業/保護者懇談会	16~17
進路・就職関連情報	18~19
後援会からのお知らせ/尚友会からのお知らせ/編集後記	20



尚美学園大学
学長 永山 賀久
後援会/尚友会 名誉会長

後援会及び尚友会の皆さまには日頃から本学へ多大なご理解、ご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

我が国の高等教育を取り巻く諸情勢は近年大きく変わりつつあります。急速な少子化の進展に伴い、2040年には大学入学者の数が3割近く減少し、多くの大学が経営困難に陥るとされています。一方、大学はこれまで以上に社会に貢献することを求められ、大学教育そのものについても、大学が「何を教えたのか」ではなく、学生が「何を学んだか」「何を修得したか」「それらは可視化できるのか」とい

た視点から厳しく問われる時代になってきています。

これらを背景として、本学では、「SHOBI START UP ー未来を奏でようー」というスローガンを掲げ、①教育の質保証、②学生支援、③広報・ブランディング、④地域連携、⑤経営・組織運営、を5本柱とする新たな中期計画（2025～2029年度）を策定しました。今後は、この計画に沿って、本学発展に向けた取組を強力に進めていくこととしております。

2026年度は、芸術情報学部芸術表現学科のスタート、学園創立100周年記念事業の実施など本学にとっても話題の多い年になりそうですが、引き続きのご理解とご支援をあらためてお願い申し上げます。



後援会会長
吉田 はるみ

年度の締めくくりの時期となりましたが、このたび尚友会と合同で特別号として広報紙をお届けできることを嬉しく思います。

2024年度は後援会単独で3月・10月の年2回発行してまいりましたが、25年度からは尚友会の皆さまと合同で年1回、3月の発行とする運びとなりました。

一年間、学生の皆さんを支えるためのさまざまな活動にご理解とご協力をいただきました保護者の皆さまに、心より感謝申し上げます。

大学では日々、学生たちがそれぞれの夢や目標に向かって努力を重ねています。保護者の一人として、その姿に大きな希望と誇りを感じております。

今回の特別号を通して、この一年を振り返りながら、大学と保護者の皆さまとのつながりをより感じていただければ幸いです。

今後も後援会として、学生生活を支える活動に引き続き取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

発刊に寄せて

これまで、本学の卒業生・在學生・教職員から成る「尚友会」と、保護者・教職員の皆様に支えられた「後援会」は、それぞれが独自の視点で広報活動を続けてまいりました。今、大学を取り巻く環境が変化する中で、「学生の成長を支え、本学の発展を願う」という共通の想いをより強く、より効率的に発信していくため、この度、両会の広報誌を合併する運びとなりました。今後は、在學生の勇姿、卒業生の活躍、そして大学の最新情報を、保護者の皆様とOB・OGがひとつの誌面で共有することになります。

この合併により、世代や立場を超えた「ALL 尚美」の絆がさらに深まることを願っております。新たな一歩を踏み出す本誌を、今後とも末永くご愛読いただけますようお願い申し上げます。

尚美学園創立 100 周年イヤーを迎えて



尚友会会長
小山内 仁

日頃より、尚美学園大学同窓会組織「尚友会」の活動に対し、会員の皆様をはじめ、後援会ならびに関係各位から多大なるご理解とご支援を賜っておりますことに、心より御礼申し上げます。

本年度は、尚友会だよりと後援会だよりが初めて合本として発行される、誠に記念すべき年となりました。これは、尚友会と後援会がこれまで以上に連携を深め、母校・尚美学園大学を中心に、卒業生・在學生・保護者・大学が一体となって歩んでいこうとする意思の表れであると、

心強く受け止めております。

一方、我が国を取り巻く社会情勢は、世界経済の不安定化、地政学的リスクの高まり、さらには急速に進行する少子化など、先行き不透明な状況が続いております。このような時代だからこそ、人と人とのつながり、そして世代を超えたネットワークの価値が、これまで以上に重要になっているのではないのでしょうか。

現在、尚美学園大学の同窓生は約3万人を超えると伺っております。

一人ひとりの力は決して大きなものではないかもしれませんが、その思いと経験を結集することで、母校のさらなる発展はもとより、社会に対しても大きな力を発揮できるものと確信しております。尚友会といたしましては、若い世代の卒業生をはじめ、すべての同窓生にとって「より身近で、参加しやすく、つながりを実感できる同窓会」となるよう、時代のニーズに即した活動と情報発信に努めてまいります。

さて、母校・尚美学園大学の設置者である学校法人尚美学園は、本年、創立 100 周年という大きな節目を迎えます。尚友会としてもさらなる飛躍を目指し、11月22日には、専門学校同窓会と合同で「学校法人尚美学園創立 100 周年記念大祝賀会」を開催する運びとなりました。その意義ある歩みを力強く支えていくためにも、同窓会と後援会が手を携え、卒業生・保護者・大学が相互に支え合う関係を築いていくことが、今後ますます重要になるものと考えております。結びに、全国の尚友会の皆様、後援会の皆様、そして関係各位のご健勝とご活躍を心より祈念いたしますとともに、今後とも尚友会ならびに尚美学園大学への変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



■ 後援会 第 26 回定期総会報告

日時：2025年5月17日（土）

会場：尚美パストラルホール

第 26 回 後援会定期総会を開催しました。後援会会員総数 2957 名中、出席者数 58 名委任状により出席者数 679 名の計 737 名の出席がありました。総会成立要件は後援会第 9 条において、正会員の十分の一の出席（書面での出席を含む）と定めているため、総会が成立いたしました。

はじめに後援会役員、大学の役員、当日出席の教員の紹介をいたしました。その後、和泉由美会長より挨拶があり、永山賀久名誉会長・学長よりご挨拶いただいた後、各担当役員より 2024 年度事業報告、同決算報告（監査報告含む）を行い、以上に基づいて審議の結果、異議なく拍手をもって原案通り承認されました。

また、今年度選任された吉田はるみ新会長からの就任の挨拶の後、2025 年度事業計画、同予算について提案があり、審議の結果、異議なく拍手をもって原案通り承認されました。

以上総会は円滑に進行し休憩を挟んだ後、「大学からのご案内」が行われました。

永山学長をはじめ、各部長、教務部長、学生部長、キャリア就職部長よりご挨拶いただき、普段知る機会の少ない履修やインターンシップ等についてのご説明をいただきました。



後援会役員紹介は QR コードを読み取りご覧ください。

■ 尚友会 第 11 回定期総会報告

日時：2025年6月28日（土）

会場：株式会社ライセンスアカデミー本社会議室

2025年6月28日（土）に「2025年度第11回定期総会」を開催しました。

当日は、ご多用の中、大学側より永山賀久学長様、オンラインで、芸術情報学部長 恩田憲一教授様、総合政策学部長 金原由紀子教授様、スポーツマネジメント学部長 小泉昌幸教授様、情報表現学科長 音楽表現学科長 後藤文夫教授様、舞台表現学科長 山崎岩男教授様、教職・資格課程センター長 大野好司教授様をはじめ多くの大学関係者のご臨席を賜りました。

議題についてはすべて可決承認され、報告事項も含めて、滞りなく無事に終了しましたことを、ご報告します。



議案書の内容、尚友会役員紹介は QR コードを読み取り、ご覧ください。



いつもありがとうございます！

賛助会員様ご紹介

株式会社
西武総合企画 様

西武バスグループのバス会社、スクールバスを安全に運行いただいております。

ナイス
株式会社 様

学内のカフェテリア、食事の提供等で後援会と連携し、企画を行っていただいております。

武州ガス
株式会社 様

川越市に本社があり、ガスの供給や環境問題・社会貢献にも積極的に取り組んでいらっしゃいます。

株式会社
リブラ 様

学内の売店、学生生活に必要な機器なども販売、売店にて後援会と連携し、企画を行っていただいております。

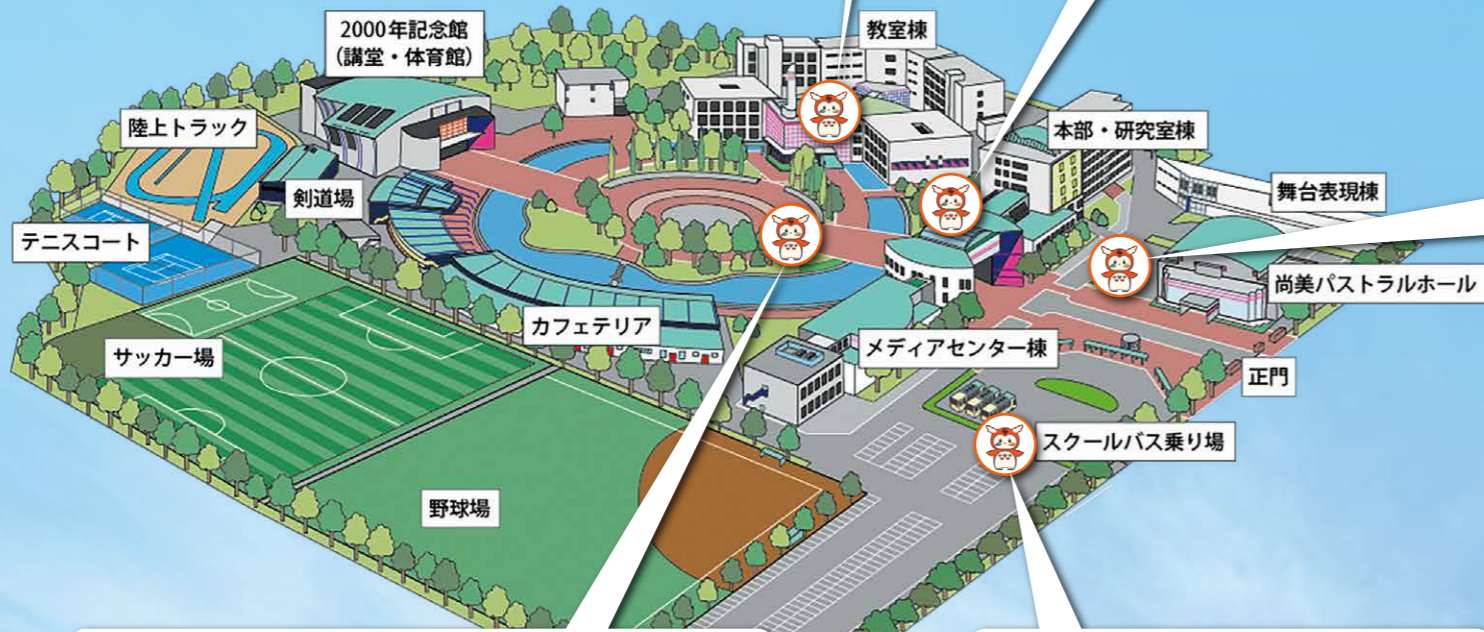


SHOBI

100th Anniversary

1926 — 2026

SHOBI創立100周年



未来へ繋げる植樹プロジェクト

次の100年の礎として、桜の植樹を行います。また、本学の理念と精神を次世代へと引き継ぐ決意を込めて、その傍らに卒業生数を刻んだ記念碑を設置いたします。

開催概要

日時：2026年4月2日（木）2026年度入学式第二部終了後
会場：尚美学園大学 グランフォーラム付近
対象：本学関係者はご自由に見学いただけます。

今回植樹する桜ジンダイアケボノは、病に強く、健やかに育つことで知られる品種です。その力強く根を張り成長していく姿には、「永続的な発展」と「未来への希望」の象徴としての願いが込められています。

100周年記念ラッピングバス

現在使用しているスクールバス（西武バス）に100周年記念ラッピングを行い、学生や地域住民の皆様へ認知していただきます。2026年1月から運行開始。



N・E 教室棟中小教室改修
アクティブラーニング・PBL 対応
N・E 棟の中小10教室の机、椅子をPBL・アクティブラーニングに適したものに更新します。壁面と床を改修してイメージを刷新。



大学名 LED 看板設置
大学名の周知を目的に、校門正面建物上部にSHOBI UNIVERSITYの看板を設置。夜間点灯させます。

記念像設置

2026年1月19日、晴天に恵まれ、約100名が参列する盛大な記念像設置除幕式が開催されました。式典では、永山賢久理事長から本記念像を設置する意義や今後の本学の歩みに向けた挨拶をいただき、後援会吉田会長、尚友会小山内会長からも来賓代表として挨拶させていただきました。



二科展文部科学大臣賞受賞石彫「空の話」
芸術情報学部情報表現学科教授宮澤光造先生制作



100周年記念ロゴマーク



学校法人尚美学園 創立100周年を迎えるにあたり、大学ロゴマークをリニューアルします。

■コンセプト：「学び」はのびやかに、飛躍する。
これまでの「SHOBI」らしさを、より新しく、力強く。創造性と革新性が飛躍する未来へ。
印象を一新し、「S」のフォルムから躍動感や聡明さを感じるシンボルデザインに仕上げました。飛躍というコトバは、スポーツの印象だけにとどまりません。「躍動」の芸術・スポーツと、「聡明」さをあわせもつ社会科学一。
さらに本学には、学生たちが分野を自由自在に横断する、独創的な「学び」があります。
これらを経て、社会に飛び立つ彼らの姿一、そのプロセスをデザインに取り入れました。また、自由自在にタクトや筆をふるう、芸術表現への想いもこめられています。



100周年記念マスコット

学校法人尚美学園創立100周年を迎えることを記念し、尚美学園大学公式キャラクターの募集を行いました。多数の応募作品の中から、芸術情報学部 情報表現学科 2年 竹澤 彩乃さんが制作した「ショウルくん」が最優秀賞を受賞し、公式キャラクターに決定いたしました。

100周年記念サイト

学校法人尚美学園創立100周年記念サイトを開設しました。学園の歴史や開催予定のイベント等webサイトをご覧ください。



右のQRコードからアクセスできます。

<https://www.shobigakuen.ac.jp/100th/>



尚友会からの100周年に関するお知らせ

「創立100周年記念大祝賀会」について

2026年11月22日（日）に東京都豊島区にあるホテルメトロポリタンにて100周年記念大祝賀会が開催されます。大学、専門学校のOB、OGが一丸となりオール尚美で開催に向けて準備を進めております。当日はオープニングセレモニーやアトラクションを多数ご準備しております。詳細は後日、皆様のもとにお届けする予定です。皆様にお会いできることを楽しみにしております。

開催概要

日程：2026年11月22日（日）
会場：ホテルメトロポリタン池袋
時間：11時30分開会 16時終了



後援会表彰顕彰 2025

後援会では、表彰顕彰助成規定に基づき、優秀な成績を取めた、個人・団体に対して表彰を行っています。芸術・スポーツ団体・個人等で、大学の名声を高める活動をした学生及びサークルに対して賞状と副賞が授与されました。今後も更なる活躍を期待し、後援会も引き続き応援していきます。

No.	分類	団体名称	氏名	学科学年	対象内容
25-1-1	個人		二木 翔太	情報表現学科3年	第21回ACジャパン広告学生賞<テレビCM部門> 優秀賞
25-1-2	個人		近藤 明日葉	情報表現学科3年	
25-1-3	個人		本間 柊平	情報表現学科3年	
25-2	個人		新戸 怜音	スポーツマネジメント学科4年	第104回 関東学生陸上競技対校選手権大会 優勝 全日本学生ランキング1位 天皇賜杯 第94回 日本学生陸上競技対校選手権大会 出場 第109回 日本陸上競技選手権大会 兼 東京2025世界陸上競技選手権大会 日本代表選手選考競技会 出場
25-3	個人		上山 拓己	スポーツマネジメント学科1年	第104回 関東学生陸上競技対校選手権大会 男子2部 男子100M 第3位
25-4	団体	女子硬式野球			第11回全日本大学女子硬式野球選手権高知大会 第3位
25-5-1	個人		本木 希実	情報表現専攻1年	第109回 二科展 入選
25-5-2	個人		川崎 萌衣	情報表現学科4年	
25-5-3	個人		飯田 菜七子	情報表現学科3年	
25-5-4	個人		堀口 珠々	情報表現学科3年	
25-6	団体	女子チアダンス (RUBRA)			USA チアリーディング&ダンス学生選手権大会 2025 EAST 大学生編成 Pom 部門 Advance Small 優勝
25-7	団体	女子チアダンス (VIOLA)			USA チアリーディング&ダンス学生選手権大会 2025EAST 大学生編成 Jazz 部門 第2位



25-1-1
二木 翔太さん



25-1-2
近藤 明日葉さん



25-1-3
本間 柊平さん



25-2
新戸 怜音さん



25-3
上山 拓己さん



25-4
女子硬式野球



25-5-1
本木 希実さん



25-5-2
川崎 萌衣さん



25-5-3
飯田 菜七子さん



25-5-4
堀口 珠々さん



25-6
女子チアダンス (RUBRA)



25-7
女子チアダンス (VIOLA)

チャレンジ2025 実績結果

学生の自主的・積極的な活動を後援会がバックアップする企画「チャレンジ2025」、2025年度も学外でのイベント開催・コンクールへの参加など、さまざまな学生のチャレンジを応援させていただきました。

No.	チャレンジ名称	氏名	専攻・学科	学年	人数
1	2025 第109回 二科美術展覧会での出展と展示を目指す	本木 希実	情報表現専攻	1	5
	【チャレンジ内容(概要)】2025 第109回 二科美術展覧会での出展と展示を目指して、各自が自主的に作品の制作を行う。8/21(木)に会場である国立新美術館に作品を搬出、9/12(金)に作品の展示準備と懇親会、9/3(水)～15(月・祝)に作品展示が行われる。				
2	ALL YOUNG K-ON FESTIVAL 2025 in KAWAGOE 開催	難波田 良紀	情報表現学科	3	12
	【チャレンジ内容(概要)】「学生による学生のための音楽フェス!」をテーマに出演者からスタッフまですべてを学生で行う。高校生以上の学生バンドを一般公募し演奏してもらう。スタッフは制作委員会のメンバーを中心に当日は尚美学園大学の学生のみで運営する。合計8～10バンドで演奏のジャンルは問わない。観客動員100名を目指す。				
3	尚美 Paradise 開催	木村 奏音	情報表現学科	1	27
	【チャレンジ内容(概要)】尚美学園大学と、尚美ミュージックカレッジ専門学校に在籍する3バンドずつ出演するコラボライブイベント。ライブイベントで尚美ミュージックカレッジ専門学校の人と知り合った際、同じ名前を持っているのにあまり交流がないことから、仲良くなれるきっかけを作りたいと強く思い、コラボイベントを企画した。				
4	高校生音楽応援ライブ"hibiki"開催	池田 侑斗	音楽応用学科	2	13
	【チャレンジ内容(概要)】このライブは、高校生たちの青春の今を映すステージです。O.N.E.STAGEはそんな高校生たちの初舞台や新たな挑戦を全力で応援しています。"hibiki"という名前には「今この瞬間の青春が、誰かの心に響き、輝き続けてほしい」という想いを込めました。私たちは、このライブを通して、高校生たちの夢のはじまりを全力で応援したいと思っています。2026/2/22(日) 15:30～18:00に大宮ヒソミネの会場で開催予定。				



1-1 本木 希実さん
題名「思切」



1-2 川崎 萌衣さん
題名「Dorset Horn Sheep」



1-3 飯田 菜七子さん
題名「静穏」



1-4 堀口 珠々さん
題名「這い出るタコ」



2 ALL YOUNG K-ON FESTIVAL 2025 in KAWAGOE



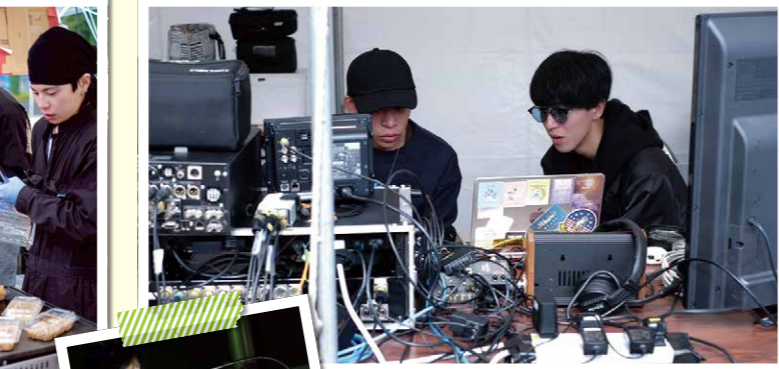
告知 チャレンジ2026

次年度も学生の自主的・積極的な活動応援企画「チャレンジ2026」を行う予定です。後援会では、学内外での芸術・スポーツイベントの開催やコンテンツ制作、コンクール、ボランティア活動への参加等、学生の皆さんの多種多様なチャレンジを応援します。「チャレンジ2026」へのご応募をお待ちしております。

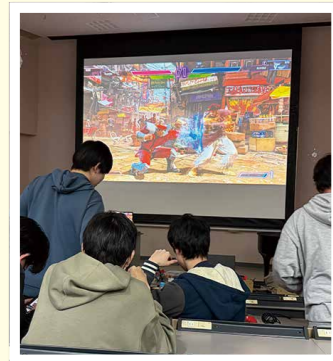
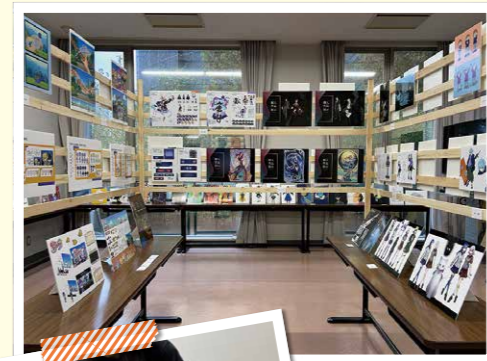
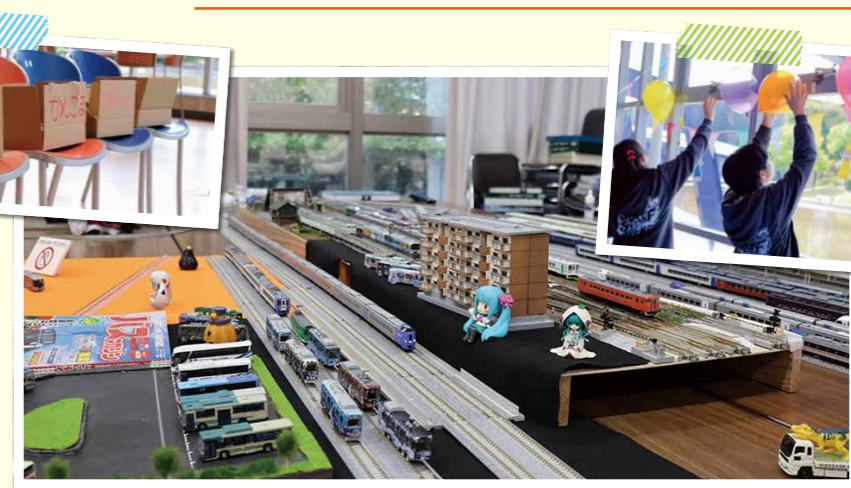


尚美祭

2025年10月25・26日、本学の学園祭である尚美祭が開催されました。学園祭実行委員会の学生を中心に、サークルをはじめ各団体が何か月も前から準備をすすめてきました。当日は、学生による演奏やパフォーマンス、企画展示等に大勢の来場者を迎え、大盛況となりました。コロナ禍で先輩学生からの伝統の引き継ぎがなかなかうまくいかない中、学生の皆さんはそれぞれに工夫を凝らし、新しい試みにも果敢にチャレンジしてきました。



私たち後援会・尚友会のメンバーも、それぞれカフェやマルシェを通じて活動の紹介をさせていただき、今回は特別に尚友会と後援会OB・OGとの合同企画でバザーを開催しました。



学園祭実行委員会の皆さん

学園祭実行委員会委員長 深石真玖さんよりメッセージ

学園祭はみんなで作り上げるものだと考え、実行委員長として各課の意見を積極的に聞き企画に反映するよう工夫しました。準備期間は早めに動くつもりがギリギリになる場面も多く、自分の進捗把握の仕方やスケジュール管理の甘さを痛感しましたが、各課の仲の良さや暖かい雰囲気にも何度も助けられました。2年生で頼りない部分もあったと思いますが、実行委員のみんなと一緒に盛り上がる尚美祭を作り上げることができ、本当に良い経験となりました。

Topic 1 会員通信 ~会員の方からの声をお届けするコーナー~

テーマ 尚美といえば○○○について語っていただきました



卒業生

尚美学園短期大学
6期生

Clarinet奏者
大城 涼子

「尚美といえば…仲間」

在学中は本当に多くの経験をさせていただきました。
専攻の Clarinet や音楽だけではなく、1番は人との関わりが大きな学びだった様な気がします。
学科の垣根を超えて沢山の気の合う仲間と有意義な時間を過ごし、また多くの先生方にも良くして頂き、授業やカリキュラム以外にも数名の同期生と一緒にレッスンやアドバイスを放課後の時間を利用して受けさせて頂いたりしていました。
私の在学中は出身地沖縄の先輩方や同級生も多かったので県人会では結束力も強く学園祭では沖縄そばやサーターアンダギーなどを作り出店しました。また九州県人会では定期的によく集まって交流していました。尚美での仲間達とは今でも交流があり各地での仕事の時には連絡し合っ再会を楽しみ近況報告や昔話を花を咲かせたりしています。
プラスカペレでの思い出、第九に参加した時の強化合宿の思い出、やった事のないテニスのサークルにも入り合宿に行ったり…良い事もそうでない事も、ハプニングやアクシデントといろんな学生時代の思い出話をしていると一気に学生の頃の気持ちにワープします(笑)
卒業してからもその仲間達と繋がり、もちろん演奏する現場での再会もあります。また学生時代には関わった事のない先輩方や後輩達と現場で新しい繋がりも出来たりと、社会に出てからの仲間との繋がりも大切に、尚美での多くの経験と出会いに感謝します。



卒業生

尚美学園大学
総合政策学部
総合政策学科
2期生

大谷 信明

「尚美といえば…挑戦」

総合政策学部2期生の 大谷と申します。
2期生ということで、当時入学して1期生しかなく、新鮮な気持ちで入学したことを覚えています。
そのため、いろいろなことに「挑戦」出来る環境だと思いました。
サークルは、野球サークルに入り、リーグ戦に挑戦したり、合宿に行ったりと充実した学生生活を送ることが出来ました。私はサークルの代表として会議に参加したりと、サークルをまとめる役割を担っていました。
学生時代は、消防士を目指しましたが残念ながら合格することが出来ませんでした。

しかし、大学卒業と同時に地元の消防団に入団し、今年で20年目となります。
分団長として、30名の団員をまとめています。
今では、分団長として会議に出席したり、地元の行事に参加したり、忙しい日々を送っています。
現在では、大学生も入団しており、自分より20歳下の学生と共に活動しております。
自分が学生時代に夢をみた、消防士を目指した学生が多く在籍しています。
『自分たちの町は、自分たちで守る』という精神のもと、今後とも地元を守っていかうと思います。
尚美で学んだ主体的に取り組むことを活かして、今後の人生も「挑戦」し続けたいと思っています。



卒業生

尚美学園大学
芸術情報学部
情報表現学科
1期生

桑原 秀夫

「尚美といえば…メディア制作の原点」

私にとって尚美学園大学は、今の仕事の土台になっている「メディア制作の原点」といえる場所です。現在は会社を立ち上げ、映像のVFX、合成、カラーグレーディング、CG マッチングなど、いわゆる「仕上げ」の領域を中心に映像制作に携わっていますが、その基礎となる考え方や姿勢は、すべて尚美での経験から生まれました。
入学した頃は、映像について特別詳しくはなかったわけではありませんが、授業やゼミ制作を通して、自分の手で作品をつくる面白さに惹かれていきました。夜遅くまで編集をしたり、色の調整ひとつで画の印象が大きく変わる瞬間に出会ったりする中で、「もっと深く知りたい」と思うようになりました。
課題や自主制作では、同級生と意見を交わしながら試行錯誤を重ね、自分ひとりでは気づけなかった視点を多く学びました。学生のうちに「試して、失敗して、作り直す」を繰り返した経験は、今の仕事にもそのまま活かしています。
会社を立ち上げてからは、クライアントワークの中で「どう仕上げれば一番伝わるか」「どこまでクオリティを高めるべきか」を常に考えています。技術やツールは変わり続けますが、尚美で培った探究心と主体性があるからこそ、新しい表現にも前向きに向き合っています。
尚美で過ごした4年間は、今の自分をつくった大切な時間であり、今の仕事の原動力です。

Topic 2 卒業生の活躍



総合政策学部総合政策学科 2006年入学
ディヌーシャ・ディルハーニさん

上福岡駅から歩いて3分程歩くと見えてくるのは和食居酒屋「絆」こちらのお店を経営されているのは総合政策学部卒業のディヌーシャさんご夫婦です。
ディヌーシャさんにお店のことや尚美学園大学在学時のお話を伺ってきました。

スリランカから日本に来たのは2000年でした。
日本に来て初めて住んだ場所が川越だったので、尚美学園大学との縁も感じます。
当時、渋谷にあるカフェレストランで働いている時の店長が総合政策学部の1期生の方でした。
とても頼りになる方でこの方が卒業した尚美学園大学にとっても興味を持ちました。
その店長がきっかけで2006年に総合政策学部に入學しました。

大学時代は日本の文化を知りたいという想いもあり、日本史を学べる澤田先生のゼミに入りました。
そのゼミの合宿で京都に行って、ゼミのメンバーと京都の紅葉を見た時の感動を今も忘れることができません。
今でもその頃に知り合った方々がお店に来てくれることを嬉しく思っています。

大学との関わりとしては毎週火曜日にキッチンカーを出店させてもらっています。
また、毎年の尚美祭でも出店させてもらっています。
日々、在学生、先生、職員、卒業生の方とお会いできることがとても楽しみです。



「尚美だよりを見た」で、からあげをサービス



instagram



食ベログ

尚友会コンサート



2025年12月25日、構内パストラルホールで「第3回尚友会コンサート」が開催され、卒業生が懐かしい学び舎に集い、現役の学生や先生方との共演を披露しました。今回は特別ゲストとして、川越少年少女合唱団の皆さんと、本学音楽表現学科長である後藤文夫教授率いる「下松原四重奏団」をお迎えし、バラエティに富んだにぎやかで楽しい演奏会となりました。



テレビで紹介されました

本学では、日々の教育・研究活動や学生の取り組みなど、キャンパス内でさまざまな活動が行われています。そうした学内の様子は、学内にとどまらず、テレビをはじめとする多くのメディアでも取り上げられています。本コーナーでは、メディアで紹介された学内の話題をまとめてご紹介します。

「大学発掘バラエティ キャンパスライフ TV ～尚美学園大学編～」の特別番組が配信開始となりました。

本番組は、テレビ埼玉の情報番組「マチコミ」内で放送された特集（2025年8月9日放送）の完全版で、現在、テレビ埼玉公式YouTubeチャンネルにてご覧いただけます。

特別番組では、芸術情報学部・総合政策学部・スポーツマネジメント学部の授業紹介をはじめ、指定サークルの活動など、本学の特色ある教育活動や学生の様子が紹介されています。

また、本学指定サークルの女子チアダンス部「VERITAS」は、2025年8月30日（土）・31日（日）に放送された日本テレビ系「24時間テレビ48～愛は地球を救う～」の企画「ボーダーレスLIVE: We are the No Borders!!!」に出演しました。

番組内では、プロアメリカンフットボールリーグNFL所属チーム、ロサンゼルス・ラムズのチアリーダーズの来日を受け、本学女子チアダンス部とともに特別なパフォーマンスを披露し、多くの視聴者に学生の活躍する姿を届けました。

さらに、本学が撮影協力した日本テレビ系列のお笑いバラエティ番組「有吉の壁」も、2025年9月17日に放送されました。

番組内では、「一般人の壁を越えろ! おもしろ芸術大学の人選手権」をテーマに、キャンパス内の施設・設備を舞台として、お笑い芸人の皆さんと本学の在学生・教職員がコラボレーションした企画が展開されました。



こちらのQRコードより
ご視聴いただけます。



授業風景 情報表現学科

日頃より、お子様が大学でどのようなことを学んでいるのか関心をお持ちの保護者の方も多いことと思います。

そこで今回は、情報表現学科の実技演習授業に潜入し取材を行いました。授業では、音響・照明・映像などの役割ごとにフルーを編成し、各自が担当を受け持ちながら、ダンスサークルSDCのパフォーマンスを題材としたダンスコンサート形式の撮影が行われていました。

学生たちはそれぞれの役割に真剣に取り組み、すべての技術が融合した、完成度の高い見事な舞台を創り上げていました。

将来、関連した職業に就きたいという夢を語る学生や、撮影や機材について熱心に説明してくれる学生の姿から、学びに前向きに取り組む様子が伝わってきました。生き生きとした現場に触れることができ、非常に有意義な時間となりました。ご担当の赤崎先生、そして学生の皆さん、このたびは取材にご協力いただき、誠にありがとうございました。



学生挨拶



学友会代表者会議議長
齊藤 優樹
スポーツマネジメント学科

2025年度学友会代表者会議議長を務めております。スポーツマネジメント学部3年の齊藤と申します。

平素より学友会活動をご支援いただき感謝いたします。

我々学友会代表者会議は、本学学生が設備等を十分に活用し、大学生活をより快適に過ごせる大学を目指し、文化部会6名、スポーツ部会7名で活動しています。

2025年度の学友会ビジョンは「つながり」です。昨年度とは異なり、学友会の人数も増員することにより学生が大学生活を快適に過ごせるよう力を入れています。その中でもサークル加入率の上昇・学生交流の場の提供に向けサークル補助金の見直しをすることにより、幅広い活動ができるような取り組みも進めており、他学部の学生と交流し、つながりを増やすイベントにも取り組んでいます。

学友会の近況としましては、入学式後の新入部員獲得に向けた新入生歓迎会の開催や食堂の券売機などのシステム効率化、その他にも文化部会・スポーツ部会を定期開催し、サークル代表との顔合わせや前年度との変更点等の共有を行っております。今後とも在学生や将来の尚美生へ向けたイベントの開催等、前年度よりも幅広く活動を行う予定です。我々学友会が精力的に活動出来ますのも、ひとえに尚友会・後援会の皆様のご支援・ご協力のおかげです。改めて感謝申し上げます。浅学非才の身ではありますが貴重な経験の出来る機会と捉え、全身全霊を持って活動する所存ですので、今後とも学友会を何卒よろしくお願いたします。



尚美祭実行委員長
深石 真玖
音楽応用学科

この度第24回尚美祭実行委員会実行委員長を務めることになりました、芸術情報学部音楽応用学科2年の深石真玖です。

日頃より尚美祭の開催にあたり、多大なるご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

本年の尚美祭のテーマは、「Nostalgia」といたしました。

このテーマには、懐かしさを大切にしながらも、新しいアイデアや表現を取り入れた特別な空間を創り上げたいという思い、そして尚美祭に関わってくれた在学生や卒業生の記憶に残り、卒業後もふと思い出してもらえよう尚美祭にしたいという願いが込められています。

また、ご来場いただくすべての方にとって、尚美祭がかけがえのない思い出となってほしいという思いも、このテーマに込めました。

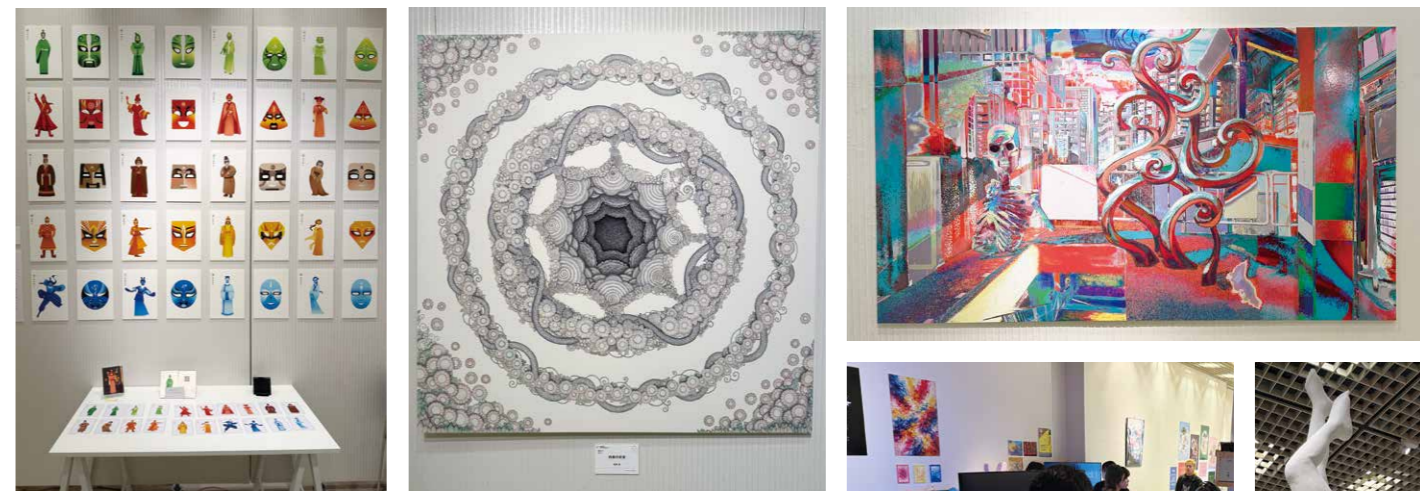
「Nostalgia」というテーマのもと、懐かしさを感じていただける企画として、昔遊びを体験できる子供向け企画を実施いたしました。子供たちだけでなく、大人の方々にも楽しんでいただき、会場が笑顔で溢れる様子を目にしたとき、本テーマに込めた思いが形になったと感じております。

何よりも、尚美祭はご来場くださる皆様、そして支えてくださる多くの方々の存在があってこそ成り立つものだと考えております。最後になりましたが、後援会の皆様をはじめ、関係者の皆様には日頃より尚美祭にご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。来年度も尚美祭にお力添えを賜りますよう、何卒よろしくお願申し上げます。

芸術情報学部「卒業関連イベント」開催報告



2025年12月～2026年3月の期間、芸術情報学部の卒業関連イベントが開催されました。公演や演奏会、展示、上映など、各学科の特色を活かした多様な形式で、日頃の研究・制作成果を学内外の皆様へ広く公開し、大学で培った専門技術を披露するとともに、地域社会や業界関係者との新たな交流を生む充実した期間となりました。



2026年2月12日から15日まで開催された卒業制作展では、表彰式も行われました。



後援会助成事業

後援会では、学生の学修環境及び学生生活の充実を目的として、2025年度も各種助成事業を実施いたしました。

環境整備助成

学生がより快適で安心して学べるキャンパス環境の整備を目的として、今年度も環境整備助成事業を実施いたしました。

学内トイレの改修

日常的に利用する施設の利便性向上を図りました。



フェイクグリーンを設置更新 (本部棟・教室棟・カフェテリア)

学内空間に潤いと落ち着きをもたらす環境づくりを行いました。



写真はイメージです

祝花

2025年度は、尚友会コンサート及び舞台表現学科卒業研究審査会・公演等へ、祝花贈呈を行い、日頃の努力を称えらるとともに、発表の場を温かく彩る支援を行いました。

これらの助成事業を通じて、学生が安心して学び、充実した学生生活を送るための一助となれば幸いです。今後も後援会では、学生及び大学のニーズに沿った支援活動を継続してまいります。引き続き、後援会活動へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



教室入口及び事務局前のベンチの更新 キャンパス内各所のベンチの更新 (サッカーグラウンド等を含む)

学生が気軽に休憩できる環境を整えました。



写真はイメージです

ミストシャワー設置 (バス停・教室棟入口)

夏季の暑さ対策の一環として学生の負担軽減を図りました。



写真はイメージです

これらの取り組みを通じて、学生生活の質の向上と、より過ごしやすいキャンパス環境づくりに寄与できたものと考えております。今後も後援会では、学生の声や大学のニーズを踏まえながら、継続的な支援に努めてまいります。

後援会・尚友会合同助成事業

学生が日常的に利用するカフェテリア及び売店への助成は、後援会・尚友会合同で実施し、快適で利用しやすい環境づくりを支援しました。

カフェテリア (合同助成)

- 定番メニュー・ランチ全品 50 円引き (サラダ、単品ライスなどアラカルトを除く)
- スナックメニュー 120 円均一

割引により、定番メニューは全てワンコイン (500 円) 以下での提供を可能としました。カフェテリアの助成事業は、2025 年 9 月から 2026 年 7 月 (縮小営業の 2~3 月を除く) に行われます。



売店

後援会助成

近年の物価高騰により物品商品の減額を目的として、昨年と同様、売店での販売上位数商品であるコココーラ いろはす と、キリン午後の紅茶ミルクティーに、1本当たり 40 円助成し割引販売をして頂いております。こちらは 2025 年 10 月より開始し 2026 年 9 月頃まで実施できる予定です。

飲料・食品関係は、メーカー側で毎年値上げを実施されている状況です。価格を据え置き割引価格での販売は、学生からも感謝されるとのことです。



尚友会助成

「学生への支援」
尚友会は定期的に学生支援の一環としてカフェテリアや売店で協賛企画を実施しております。

今年度は尚友会協賛価格と題してバナナを1本 60 円で提供させていただきました。来年度も日々頑張っている学生の皆様に喜んでいただけるよう引き続き支援をしてまいります。



保護者懇談会

2025 年 10 月 4 日 (土)、大学教室棟において、後援会主催による保護者懇談会を開催いたしました。当日は 111 名の保護者の皆さまにご参加いただき、誠にありがとうございました。

第1部では学科ごとに分かれ、教員の先生方より学科の特色や教育内容、学生の学修状況、今後の学びや進路に関する説明が行われました。保護者の皆さまからは、日頃の学生生活や将来への不安などについて質問が寄せられ、学科の現状をより深く理解する機会となりました。

第2部では個別相談会を実施し、修学や進路、就職活動などについて、教員や関係者に直接相談できる場を設けました。一人ひとりの状況に応じた丁寧な対応により、参加された保護者の皆さまからは「安心できた」「具体的な話を聞くことができた」といった声も聞かれました。



今後も後援会では、保護者の皆さまにとって有意義な機会となるよう活動を続けてまいります。引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

告知

来年度の保護者懇談会は 2026 年 10 月 3 日 (土) の開催を予定しております。詳細な日程や内容につきましては、決まり次第あらためてご案内いたしますので、ぜひご参加いただければ幸いです。

尚友会維持会費納入の御礼とお願い

2024年度の維持会費納入にご協力いただきまして、ありがとうございました！

お陰様で、2025年3月末現在[合計70口、140,000円 2024年度寄付金：100,000円] (口座徴収料金除く)が集まりました。引き続き、2025年度もよろしくお願いいたします。

尚友会の事業は、入学時に納入していただく「終身会費」と卒業生や教職員の皆様から任意で納入していただく「維持会費」により運営されます。この維持会費の拡充により、現役学生への支援も手厚いものとなります。尚友会の掲げる『建学の精神である<智と愛>を継承し、会員相互の親睦向上を図るとともに、尚美学園大学の教育振興を支援し、もってその発展に寄与する』という目的をご理解いただき、ぜひ維持会費の納入にご協力をお願い申し上げます。

■お預かりした会費の使途である「尚友会事業」は以下の通りです。

【尚友会事業】

- ①定期総会開催
- ②役員会開催
- ③広報活動事業 (会報発行、ホームページ作成等)
- ④大学・各学部・各学科主催行事への参加
- ⑤学園祭への参加
- ⑥教育振興事業
(教職資格課程支援やキャリア就職支援プログラムなど)
- ⑦教育活動・学生募集支援事業

【助成事業】

- ①校友会活動助成 (卒業記念品事業など)
- ②イベント助成
- ③支部活動助成



尚友会 定期総会



下松原思い出横丁 (尚美祭出店)



助成金交付事業卒業生企画・演奏等コンサート



教育振興助成事業 (教育シンポジウム)

住所変更や改姓のお手続きについて

尚友会では、会員名簿の整備を行っています。各種行事のお知らせ、会報誌の送付など、校友会運営に役立てています。ご卒業後にお名前や住所等が変更になった方は、下記連絡先まで情報をお寄せください。

<尚友会連絡先>

〒350-1110 埼玉県川越市豊田町1-1-1
尚美学園大学 総務課 地域連携室
【TEL】049-246-7374 (尚友会事務局)
【E-mail】chiiki-renkei@s.shobi-u.ac.jp

尚友会情報発信中！

尚友会では皆様に多くの情報をタイムリーにお届けさせていただけるようにX (旧 Twitter) を開設いたしました。これからは学生の活躍、OB・OGの方々の活躍や大学関連の情報をX (旧 Twitter) でもお届けしていきます。是非、フォローをよろしくお願いいたします。

<尚友会 X (旧 Twitter)>
「尚友会 X」で検索してください！



<お問い合わせ>
e-mail : info@shobialumni.jp

後援会ホームページの紹介

1. 尚美学園大学のホームページにアクセス
<http://www.shobi-u.ac.jp>
2. 大学ホームページのトップから、保護者の方をクリックすると、次のページに **後援会** のご案内があります。



こちらのQRコードから
大学ホームページへ
アクセスできます。



後援会役員募集中

後援会役員を随時募集中です。

- 仕事内容**
1. 学業奨励や学生の福利厚生に関する援助
 2. 学生の諸活動に対する援助
 3. 教育研究環境の整備への援助
 4. 後援会行事 (定期総会、懇談会、役員会等諸行事) の企画運営

後援会に興味のある在学生の保護者様は、尚美学園大学学生課 (後援会事務局) まで
【TEL】049-246-2127
【E-mail】gakusei-ml@s.shobi-u.ac.jp

編集後記

尚友会だよりと合併した創刊号はいかがでしたか？

さて、今号より保護者様と大学を繋ぐ情報誌として、年1回の発行となります。大学の近況や後援会の活動内容など、『ギュッ』と詰めてお届けしております。今後とも、後援会活動に対する保護者様のご理解、ご支援ならびにご協力のほど、何卒よろしくお願いいたします。私事ですが、今年初めて懇談会にも参加させて頂き、履修状況や今後の方向性など相談出来、有意義な時間を過ごせました。また、尚美祭にも参加し後援会のカフェ出店など行事に関わる事が出来ました。『あ、有吉の壁で使用されてた場所だあ』と、ミーハー全開で見学しました。貴重な体験が出来、後援会に参加出来て良かったなと思いました。

後援会役員は、随時募集しております。学生がより良いキャンパスライフを送れるよう、活動を展開しています。本誌を通じて興味を持たれた方は、ぜひお声掛けください。保護者様から見た日頃感じている問題点やご要望、本誌に関する感想などございましたら、ぜひお寄せくださいますようお願い申し上げます。最後になりましたが、取材やご協力頂いた皆さま、誠に有難うございました。(尚美学園大学後援会 M)